

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

越前町立越前中学校

今年4月18日に3年生を対象に、「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施しました。その結果について、本校の概要をお知らせします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎないことをご理解ください。

	国語	数学
福井県との比較	○	○
全国との比較	○	○

<表の見方>

- ◎・・・5. 1ポイント以上 上回る
- ・・・±5ポイント以内
- △・・・5. 1ポイント以上 下回る

【学力調査結果について】

【国語】

<良好な点>

- (1) 文章と図を結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈すること
- (2) 作品に使われている表現技法について理解すること
- (3) 具体と抽象など、情報と情報との関係について理解すること

<課題となる点>

- (1) 文の成分の順序や照応について正しく理解すること
- (2) 文脈に即して正しく漢字を書くこと
- (3) 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係を捉えること

<改善に向けて>

- ・文法の授業だけでなく、読む授業でも文の成分や文節同士の関係について触れる
- ・ノートやプリントの誤字脱字を直し、正しい漢字の使い方について引き続き指導する
- ・説明文では、接続詞などに着目しながら段落同士の関係を捉える機会を設ける

【数学】

<良好な点>

- (1) 簡単な場合について確率を求めること
- (2) 複数のデータ分布を見て四分位範囲を比較すること
- (3) 角の大きさに着目して事象を観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと

<課題となる点>

- (1) 文字を用いた式で表すこと
- (2) 図形の移動（回転移動）を理解すること
- (3) 一次関数における、グラフとy軸との交点やグラフ同士の交点の意味を理解すること

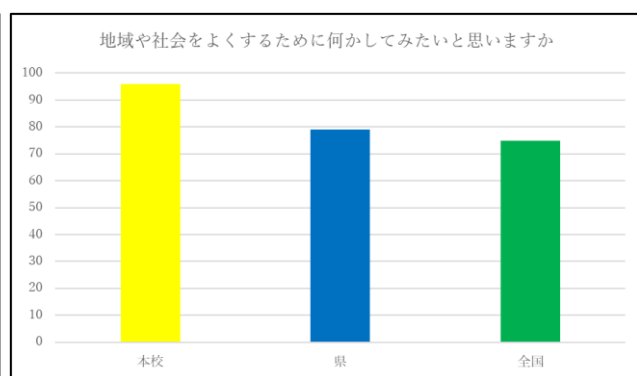
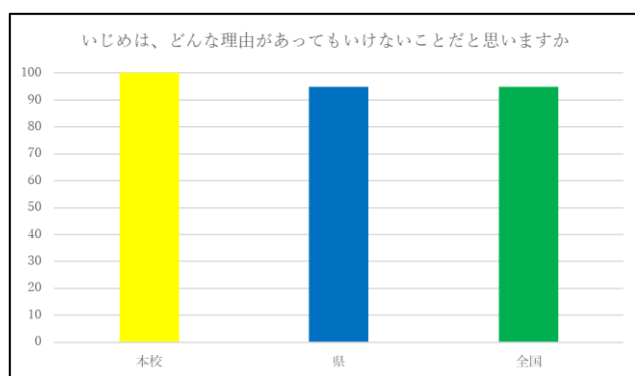
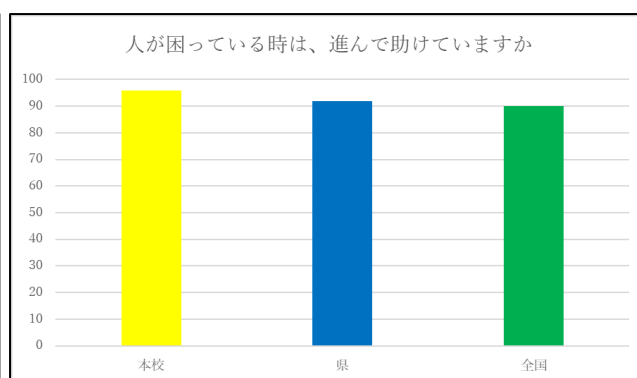
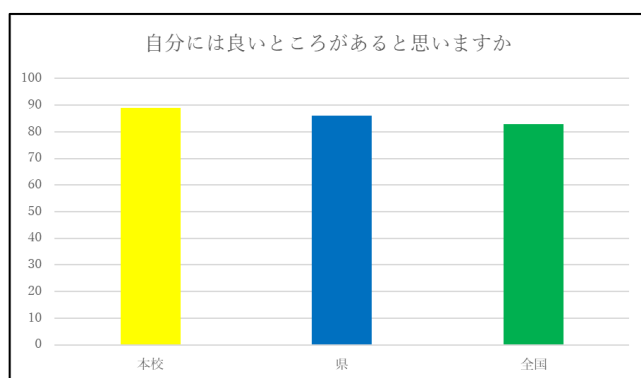
<改善に向けて>

- ・文字を用いて表す際に、生徒自身がきまりを見いだせるように具体的な数を用いるなどの工夫をする
- ・回転移動では、移動の中心からの距離が等しいことをもとに、各頂点の動きイメージさせながら移動の様子をつかませる
- ・一次関数の学習では、式の意味（例えばグラフの傾きは何を表しているのか、グラフの交点は？）も確認しながら答えを求めさせる

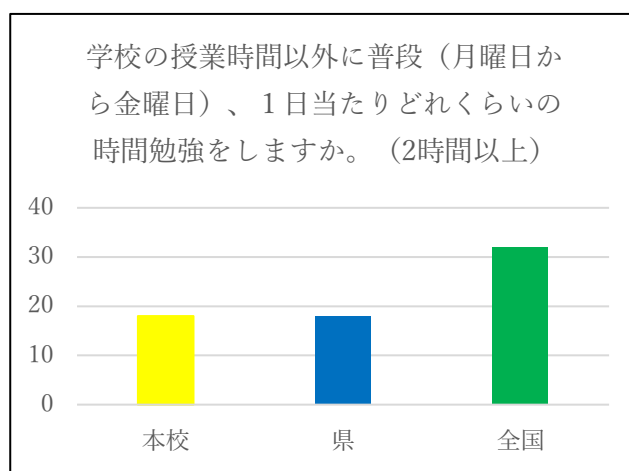
【学習状況調査結果について】

学習状況調査では、生活習慣や、規範意識、家庭学習、自尊感情、学習に関する意識などに関する質問がありました。これらの多くの質問事項に対し、福井県や全国平均と同等、もしくは上回る結果が見られました。

そのうち、特に福井県や全国平均を上回った質問事項を取り上げます。①自分には良いところがあると思いますか。②人が困っている時は、進んで助けていますか。③いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。④地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。の質問事項については、良好な回答をする生徒が多かったです。



『学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか』という項目については、平日1日2時間以上と答えた生徒は約2割、1時間以上だと約6割となります。全国平均と比べると、家庭での学習時間が短いことが分かりました。家庭学習が定着するよう、日々の課題だけでなく、自主的な学習ができるようご家庭でのお声掛けをよろしくお願いいたします。



【保護者の皆様へ】

生徒たちは、授業に落ち着いて取り組んでいます。このような毎日の積み重ねがこれからにつながっていくと信じております。

今後も、生徒がより良い中学校生活が送れるよう全力で指導してまいります。ご家庭でも、学習習慣の定着や、規範意識の向上につながるようなお声掛けをよろしくお願いいたします。